

著書	(15)
論文	(60)
口頭発表・講演	(84)
ポスター発表	(2)
調査報告書・研究報告書等	(16)
研究会・講演会等の開催	(16)
パネリスト、モデレーター等	(5)
特許出願	(1)
翻訳	(2)
Web、雑誌、テレビ等メディアでの発信	(22)
その他	(2)
計	225

【著書（単著および共著）】

- 藤本昌代、「第9章 感染症時代の経営の諸側面①－地方都市・中小企業におけるコロナの影響－」、中川功一／編、『感染症時代の経営学』、千倉書房、2020年11月25日、pp.105-115
- 藤本昌代、「第11章 なぜコロナ禍で中小企業経営者は従業員を解雇しなかったのか」、関智宏・同志社大学中小企業マネジメント研究センター／編、『新型コロナウイルス感染症と中小企業』、同友館、2022年8月30日、pp. 262-283
- 服部篤子、「持続可能な地域経済を支える共創コミュニティ」、今里滋編『ソーシャル・イノベーションの理論と実践』、明石書店、2022年3月31日、pp.52-66
- 川嶋四郎、『民事訴訟の簡易救済法理』、弘文堂、2020年
- 良心学研究センター／編、『良心から科学を考える—パンデミック時代への視座』、岩波書店、2021年2月
- 向正樹、「元と南方世界」、櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉／編、『アジア遊学 元朝の歴史—モンゴル帝国期の東ユーラシア』、勉誠出版、2021年5月、pp.251-265
- 内藤正典、『プロパガンダ戦争、分断される世界とメディア』、集英社、2020年9月、全268頁
- 新川達郎・江藤俊昭、『緊急事態・非常事態と地方議会』、公人の友社、2020年11月
- NISHIOKA Mikio, “Ideas and Economy in Japan: Innovation and Tradition”, 同志社大学経済学研究叢書10、有斐閣、2022年6月中旬出版予定、全280頁（Chapter 9, Seki Hajime’s urban socio-economic policy and his economic thought, 6 Ideas and practices of ‘urban-social policy’ for advanced industrial infrastructure based on social productivity through public health and health institutions as social capital）
- 野田遊、『自治のどこに問題があるのか—実学の地方自治論』、日本経済評論社、2021年
- 野田遊、「COVID-19 パンデミックと地方自治—民意でよみとく社会の変化」、岩崎正洋／編著、『ポスト・グローバル化と政治のゆくえ』、ナカニシヤ出版、2022年、第5章
- 太田肇、『「超」働き方改革—四次元の「分ける」戦略—』、筑摩書房、2020年7月

太田肇、『同調圧力の正体』、PHP研究所、2021年6月

太田肇、『日本人の承認欲求—テレワークがさらした深層—』、新潮社、2022年4月

田中秀樹、「第4章 リモートワークにおける信頼形成と創造的行動」、高橋潔・加藤俊彦／編著、『リモートワークを科学するⅠ 調査分析編 データで示す日本企業の課題と対策』、白桃書房、pp.113-142、2022年9月6日

【学術論文（単著および共著）】

秋山いわき、「臨床診断における超音波技術の基礎と最新動向」、『日本音響学会誌』、76巻11号、pp629-634、2020年

Iwaki Akiyama, “Basic and recent applied technologies of ultrasound in the field of clinical diagnosis”, *Journal of Acoustical Science and Technology*, 41(6), pp845-850, 2020

安達晃史、「新型コロナウイルス感染症が関西の通勤行動などにもたらした影響と今後の展望：アンケート調査に基づく基礎的考察」、『同志社商学』、73(2)、pp.653-662、2021年9月17日

藤本昌代、「2020年コロナ禍第1波の緊急事態宣言下で企業組織に起こっていたこと：パンデミックの中で働くということ」、『同志社社会学研究』、25: 17-44、2021年3月31日

舩津浩司、「株主総会運営のデジタル・トランスフォーメーション」、『法学教室』、485号、10-14頁、2021年

Ragouguelaba Agoda Kousséma, Hirohide Haga, “Design and Implementation of Highly Secure Residents Management System Using Blockchain”, *Journal of Computer and Communications*, Vol.8 No.9, pp.67-80, September 2020, (DOI: 10.4236/jcc.2020.89006)

Ragouguelaba Agoda Kousséma, Hirohide Haga, “Highly Secure Residents Life Event Management System based on Blockchain by Hyperledger Fabric”, *Journal of Computer and Communications*, Vol.9, No. 9, September 2021

Handler, I., “Can Senior Travelers Save Japanese Hot Springs? A Psychographic Segmentation of Visitors and Their Intention to Visit Onsen Establishments during COVID-19”, *Sustainability (Switzerland)*, 14(4), art. no. 2306. (2022)

Handler, I., & Tan, C. S. L., “Impact of Japanese travelers’ psychographics on domestic travel intention during the COVID-19 pandemic”, *Journal of Vacation Marketing*, Published online: August 25, 2022, <https://doi.org/10.1177/13567667221122108>

Handler, I., & Kawaminami, J., “Why do Japanese people visit hot springs during a pandemic? A psychographic segmentation analysis”, *Journal of Outdoor Recreation and Tourism*, Published online: June 17, 2022, <https://doi.org/10.1016/J.JORT.2022.100530>

Hirokazu Takahara, Hiroo Matsushita, Erika Inui, Masashi Ochiai and Masahiko Hashimoto, “Convenient microfluidic cartridge for single-molecule droplet PCR using common laboratory equipment”, *Analytical Methods*, 13, 974–985 (2021.2 28)

飯塚まり、「SDGsを超えて—SDGsを考える（底流と鳥瞰）」、『GCNJ SDGs 調査レポート 2020年度版』、pp.21-25、2021年3月

T. Najima, T. Kato, A. Tamura and S. Yamamoto, “Remote Learning of Speaking in Syntactic Forms with Robot-Avatar-Assisted Language Learning System”, *Text, Speech and Dialog (TSD)*, 2021, pp.558-566

川嶋四郎、「『民事裁判の ICT 化』と臨床法学教育」、『法曹養成と臨床教育』、13 号 100 頁、2021 年

川嶋四郎、「『誰一人取り残さない市民裁判所』を求めて」、『市民と法』、129 号、2021 年 6 月 1 日

川嶋四郎、「誰一人取り残さない『民事訴訟の ICT 化』に向けた総論的な緊急課題」、『判例時報』、

No.2480、2021 年 6 月 21 日

Kohei Kishida, Masami Tsuda, Polly Waite, Cathy Creswell, and Shin-ichi Ishikawa, “Relationships between local school closures due to the COVID-19 and mental health problems of children,

adolescents, and parents in Japan”, *Psychiatry Research*, 306, pp.114276-114276, 2021

森千香子、「パンデミック時代の共生」(1)~(5)、『UP (東京大学出版会)』、2020 年 11 月~2021 年 4 月

長沼健、「COVID-19 の感染拡大による電子商取引の進展と海上運送への影響について」、『日本法学』、第 87 巻第 4 号、101-120 ページ

長沼健、「COVID-19 の感染拡大による自動車輸出の減少と運送書類への影響」、『同志社商学』、第 73 巻第 6 号、103-118 ページ

高橋広行、佐藤研一、長沼健、「COVID-19 を含めた環境要因が、QR コード決済アプリの利用行動に与える影響：マルチ・レベル・パースペクティブ理論を背景に」、『同志社商学』、73(2)、pp. 747-776、2021 年 9 月 17 日

内藤正典、「第 3 章 パンデミックに対するムスリムのレジリエンス」、同志社大学良心学研究センター／編、『パンデミック時代における良心』、2021 年 3 月、pp.22-29

Nakayachi, K., Ozaki, T., Shibata, Y., & Yokoi, R., “Why Do Japanese People Use Masks Against COVID-19, Even Though Masks Are Unlikely to Offer Protection From Infection?”, *Frontiers in Psychology*, 2020.8.4, (doi: 10.3389/fpsyg.2020.01918)

Nakayachi, K., Ozaki, T., Shibata, Y., & Yokoi, R., “A comparison of perceived effectiveness of preventive behaviors against COVID-19 between the public and medical experts: Not so different in means, but in distributions”, *The Journal of Health Psychology*, 2021.3.3 (DOI: 10.1177/1359105321999701)

西岡幹雄、「マーシャル『産業と商業』の評価と位置づけ—日本からの視野と大阪—」、『産業と商業』100 周年記念講演録、近代経済学史研究会、2021 年 2 月

西岡幹雄、「マーシャル『産業と商業』に対する評価と大阪発の『都市社会政策』構想—アルフレッド・マーシャルと関—」、『経済学論叢』(同志社大学)、第 74 巻 第 1 号 (2022 年 6 月刊行予定)

野田遊、「これからの自治体の情報発信の課題と展望」、『地方自治みえ』、三重県地方自治研究センター、第 347 号、2021 年 5 月

Masashi Okubo, “Influence of Communication Environment on Feeling and Degree of Transmission”, HCII2022 Conference, proceedings volume 4, LNCS 13305 (掲載予定)

Masaya Kato, Miho Ohsaki, Kei Ohnishi, “Genetic Algorithms Using Neural Network Regression and Group Lasso for Dynamic Selection of Crossover Operators”, International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and International Symposium on Advanced Intelligent Systems SCIS&ISIS-2020, December 2020 (DOI: 10.1109/SCISISIS50064.2020.9322697)

Shiotani, K., Tanisumi, Y., Murata, K., Hirokawa, J., Sakurai, Y. and Manabe, H., “Tuning of olfactory cortex ventral tenia tecta neurons to distinct task elements of goal-directed behavior”, *eLife*, 9, e57268 (2020.8.4)

Tanisumi, Y., Shiotani, K., Hirokawa, J., Sakurai, Y. and Manabe, H., “Bi-directional encoding of context-based odors and behavioral states by the nucleus of the lateral olfactory tract”, *iScience*, 24, 102381 (2021)

- 佐野淳也、「小規模自治体における内発的地域イノベーション・エコシステム」、『同志社政策科学研究』、22 卷 2 号、2021 年 2 月 15 日、125-142 頁 (<https://bit.ly/3ejQk0P>)
- Kakushin Nishimura, Habibullah Babakarkhail, Kenya Sato, “Load-Balancing Routing with Hybrid Network Considering Bandwidth Ratio”, *The Harris Science Review of Doshisha University*, Vol.61, No.1, pp.14-21, 2020
- Koki Higashiyama, Kenta Kimura, Habibullah Babakarkhail, Kenya Sato, “Simulation Evaluation of Cooperative Intersection Traversing Method for Connected Vehicles”, The Ninth International Conference on Advances in Vehicular Systems, Technologies and Applications, pp.1-6, 2020
- 佐藤健哉、「次世代ダイナミックマップ DM2.0 (協調型自動運転に向けた情報通信プラットフォーム)」、『日本機械学会誌』、Vol.124、No.1228、pp.24-26、2021
- Kohei Hosono, Akihiko Maki, Yosuke Watanabe, Hiroaki Takada and Kenya Sato, “Implementation and Evaluation of Load Balancing Mechanism with Multiple Edge Server Cooperation for Dynamic Map System”, *IEEE Transactions on Intelligent Transportation Systems*, pp. 1-11, 30 March 2021 (DOI: 10.1109/TITS.2021.3067909)
- 関智宏・河合隆治・中道一心、「COVID-19 影響下における中小企業の企業家活動プロセス—アントレプレナーシップ研究からの接近による実態把握—」、『同志社商学』、第 72 卷第 2 号、pp.249-276、2020 年 9 月
- 関智宏、「危機状況下における中小企業の企業家活動プロセス—アントレプレナーシップ研究からの接近による分析枠組の構築—」、『社会科学』、第 50 卷第 4 号、pp.177-195、2021 年
- 関智宏、「COVID-19 状況下における「旅」としての企業家活動プロセス—京都の老舗中小企業 綿善旅館をケースとして—」、『商工金融』、2021 年 4 月号、pp.5-27、2021 年
- 関智宏、「日本における COVID-19 と中小製造企業の持続可能な経営—危機を乗り越えようとする B toB の 2 社の探索的ケース・スタディから—」、一般社団法人機械振興協会経済研究所小論文、No. 13、2021 年
- 関智宏、「COVID-19 影響下における中小企業の課題と支援」、『企業診断』、企業診断編集部、2021 年 9 月号
- 関智宏・竇少杰・洪性奉、「COVID-19 影響下におけるアジア中小企業の企業家活動プロセス—中国・韓国・タイの国際比較—」、『立命館経営学』、第 60 卷第 2 号、pp.95-130、2021 年
- 関智宏・中道一心・河合隆治、「COVID-19 という危機を乗り越えようとする中小企業の企業家活動プロセス—ミタニ建設工業株式会社 (高知県) をケースとして—」、『経営経済』、第 56 号、pp.121-145、2021 年
- Sugai, P., Phattanaprayoonvong, S., Phetharn, J., Yamazaki, M., “Valuing Value -A synthesis of global sustainability frameworks to establish objective and transparent goals to measure value for a firm, its shareholders, customers, employees, partners, society and the planet”, [Discussion Paper, No: DBS-21-01]. Doshisha Business School, 2021. (https://bs.doshisha.ac.jp/studygroup/discussion_paper.html)
- Sugai, P., “The Definition, Identification and Eradication of Value Washing”, *Journal of Creating Value*, August 2, Sage Journals, (2021.8.2)
- 田口聡志、「VUCA 社会で紡ぐ証券市場と企業組織の Tech X 信頼：実験社会科学に向けて」、『同志社商学』、72(4): 61-87、2020 年
- 田口聡志・椎葉淳・三輪一統・村上裕太郎、「会計情報と報酬契約の関係を巡る理論と実験の乖離：説明の根拠を巡って」、『同志社商学』、73(1): 63-96、2021 年
- 田口聡志、「Tech 時代の価値創造と会計 --会計利益の本来的な役立ちを巡って」、『企業会計』、73(4): 23-30、2021 年
- 山本達司・田口聡志・三輪一統、「粗雑なシグナルか、精緻なシグナルか？ —逆淘汰防止のための経営管理

- ツールの構築に向けて」、『メルコ管理会計研究』、12(2): 47-62、2021年
- 田口聡志、「AI 監査と不正の多様性：監査人の責任に係る経済実験」、同志社大学 ITEC working paper series 20-6: 1-18、2021年
- 高橋宏司、「電子署名法の解釈問題：クラウド型署名（本人型リモート署名および立会人型署名）に着目して」、『同志社法學』、73(2)、pp. 169-198、2021年7月31日
- 辻村元男、「Capital expansion and reduction with fixed and proportional costs under demand ambiguity」、『同志社商学』、72(6)、pp.209-227、2021年
- 瓜生原葉子、大西峻介、「ポストコロナ時代の共創価値創出への行動変容－企業における『社内新規事業提案行動』に関する調査結果－」、『同志社商学』、73(1)、pp. 203-219、2021年6月30日
- 瓜生原葉子、「新型コロナワクチンの接種意向とその影響因子－就業者に対する調査結果－」、『同志社商学』、73(1)、pp. 131-151、2021年6月30日
- Aysun Uyar, “Regional Responses to Covid-19 and Potential for Further International Cooperation at Regional Level”, *Japanese Review of Political Society* (forthcoming)
- 八木匡、「現代貨幣理論（MMT）に基づく経済政策の持続可能条件」、Discussion Paper Series No. 2020-01、2020年7月
- 八木匡、「なぜロックダウンは、有効とならないのか？社会均衡モデルによる分析」、Discussion Paper Series No. 2020-02、2021年2月
- 八木匡、伊多波良雄、「新型コロナウイルスの社会的コストと行動変容の本質」、Discussion Paper Series No. 2020-03、2021年3月
- 鄭躍軍、「環境意識の社会的規定要因－日独比較の視点から－」、第48回日本行動計量学会大会抄録集:44-47
- 吉野諒三・陳艶艶・鄭躍軍・林文、「環境問題を巡る人々の意識－世論の表層と基底－」、『データ解析の理論と応用』、9(1):13-29。（査読付論文）

【口頭発表】

- 川口、高柳、城田、長谷川、秋山、「超音波とMRの同時撮像による肺のマルチモダリティイメージング」、日本超音波医学会 第94回学術集会、神戸ポートピアホテル、2021年5月21日
- 藤本昌代、「コロナ災禍における中小零細企業の事業・雇用維持への不安：職業としての経営者調査」、第93回日本社会学会、2020年11月1日
- 藤本昌代、「コロナ禍で働くということ：2020年私たちの生活に何が起こっていたのか」、第4回 科学技術と社会について考えるシンポジウム、2021年1月19日
- 藤本昌代、「コロナ禍で働くということ：2020年大企業に何が起こっていたのか」、産研（社）関西国際産業関係研究所セミナー、2021年2月13日
- 藤本昌代、「コロナ禍で働くということ：2020年の緊急事態宣言下の大企業、中小企業、労働者に起こっていたこと」、知的オフィス環境推進協議会セミナー、2021年2月25日
- 藤本昌代、「コロナ禍で働くということ：第1回緊急事態宣言から1年経って（2021年調査）」、第5回科学技術と社会について考えるシンポジウム、2022年1月18日
- 藤村友美、「『自分と他者の顔の認識』が非対面コミュニケーションに及ぼす影響」、COVID-19 Research Project 第5回シンポジウム「With コロナ社会のコミュニケーションを考える」、2021年11月22日
- 船津浩司、「経産省・法務省等の総会運営関連の通知、Q&Aに関する法的評価および位置づけについて」、

- 京都株式事務研究会 8月例会報告、2020年8月25日
- 橋本雅彦、「偽陰性判定の低減と利便性の高さを特長とした小型 PCR デバイス創製のための基盤研究」、COVID-19 Research Project 第2回シンポジウム「With コロナ社会の健康・医療を考える」2021年8月31日
- 飯塚まり、山本純一、「緊急事態宣言下におけるテレワーク調査から：ウェルビーイングな働き方を目指して」、社会・経済システム学会第39回大会、2020年11月1日
- Mari Iizuka, “Introduction of Japan Chapter: ‘SDGs and UN Global Compact’”, Humanistic Management Network Annual Conference of 2020, November 5, 2020
- Mari Iizuka, “For Unity in Diversity: Linking Foreign Students to Japanese Business through SDGs”, Humanistic Management Network Annual Conference of 2020, November 5, 2020
- Mari Iizuka, Junichi Yamamoto, “Well-being at Japanese Workplace: Survey of Telework Experience Under Covid-19 State of Emergency in Japan”, Humanistic Management Network Annual Conference of 2020, November 5, 2020
- Mari Iizuka, Junichi Yamamoto, “Telework experiences under Covid-19 Crisis: The impacts to employees’ perceptions towards work-life balance, climate change, diversity, and social orientations”, The 10th Annual Conference of the Japan Association for Human Security Studies, November 29, 2020
- Ahista Hussain, Mr. Carlos Cordova, Mr. Carlos Hernandez and Graduates and Students of Doshisha Business School, “Global Students Session: Considering Unity in Diversity in the midst of Covid-19”, 2020 Annual Humanistic Management Conference, November 5, 2020 (学生発表：飯塚まり)
- 飯塚まり、「これからの大学と大学教員に求められる課題」、第26回京都大学FDフォーラム“大学の教育・研究・社会貢献に新しいモデルは生まれうるか？～COVID-19の経験を踏まえてAI化・ロボット化した世界の担い手を構想する～”、2021年2月27日
- Ikegawa, M., “Impact of COVID-19 through proteomic landscape of the brain with Mass Spectrometry imaging”, Doshisha Week 2020 “COVID-19 Research: Challenges and Achievements for the Society”, ‘Cognitive and Immunological Impact of COVID-19’, March 4, 2021
- Ikegawa, M., “COVID-19 and the Brain”, 米国 Library of Congress : COVID-19 Health Series, 2021.5.13 (招待講演)
- 池川雅哉、「DIUTHAME を用いた脳アミロイド血管症・アルツハイマー病脳の質量分析イメージング」、第69回質量分析討論会、2021年5月19日
- 和泉真澄、「コロナウイルス流行により生じる世界のアジア人・アジア系に対するヘイトに関する研究」、COVID-19 Research Project 第4回シンポジウム「With コロナ社会の国際課題を考える」2021年10月26日
- 名島大生・寺本龍生・加藤恒夫・田村晃裕・山本誠一、「遠隔による第二言語コミュニケーション訓練のためのロボットアバター言語学習支援システムにおける視線情報の分析」、HAI シンポジウム 2021、P-52、pp.1-6、2021年3月10日
- 名島大生・加藤恒夫・田村晃裕・山本誠一、「遠隔学習のためのロボットアバターを用いた言語学習支援システムの試作」、電子情報通信学会総合大会 2021 情報・システム講演論文集 1、p.102、2021年3月12日
- 名島、村本、加藤、田村、山本、「遠隔による第二言語コミュニケーション訓練のためのロボットアバター言語学習支援システム」、日本音響学会 2021 年秋季研究発表会、pp.1393-1396、2021年9月7日
- 加藤恒夫、「コンピュータ・ロボット支援言語学習のオンライン環境における効果測定」、COVID-19 Research Project 第5回シンポジウム「With コロナ社会のコミュニケーションを考える」、2021年11

月 22 日

川口章、「新型コロナウイルス感染症拡大下におけるワーク・ライフ・バランス」、長岡京市「令和 2 年度『市内事業所女性活躍推進ネットワーク研修会』」、2021 年 3 月 15 日

川口章、「小学校・保育園の臨時休業等が働く親に及ぼした経済的・心理的影響」、COVID-19 Research Project 第 1 回シンポジウム「With コロナ社会のダイバーシティを考える」、2021 年 7 月 28 日

川嶋四郎、「コロナ禍の中小企業支援における法的セーフティネットの形成—手続の IT 化と弁護士・地域金融機関の役割を中心に」、日本法社会学会年次大会、2021 年 5 月 22 日

岸田広平、「子どもと親のメンタルヘルスに対する学校閉鎖の影響」、COVID-19 Research Project 第 2 回シンポジウム「With コロナ社会の健康・医療を考える」2021 年 8 月 31 日

新濱遼大・榎原絵里奈・小野景子、「学習者の活動ログから集中力を推定する試み」、ソフトウェアエンジニアリング 2020 ワークショップ (オンライン)、2020 年 9 月 10 日

新濱遼大・榎原絵里奈・小野景子、「生体情報を用いたプログラミング時における学習者の状態推定の試み」、電子情報通信学会知能ソフトウェア工学研究会、120 巻 423 号、pp.31-35、2020 年 3 月 6 日発表

三田雄一郎、「新型コロナウイルス受容体の発現を抑制する物質の探索」、COVID-19 Research Project 第 2 回シンポジウム「With コロナ社会の健康・医療を考える」、2021 年 8 月 31 日

三俣学、「協働を通じた森林協治は可能か?—6 年間の試行錯誤を通じて」、2020 年度日本造園学会 (オンライン開催)、2020 年 5 月 14 日

得能司、「都市町内における『適任者』自治：京都祇園祭山鉾町における『よそ者』『新参者』の包摂」、第 45 回地域社会学会大会オンライン自由報告部会、2020 年 8 月 22 日 (学生発表：森千香子)

村上紗央里、「ポストコロナの『市民』をどう考えるか—パブリックマインドの育成に関する実践研究」、COVID-19 Research Project 第 1 回シンポジウム「With コロナ社会のダイバーシティを考える」、2021 年 7 月 28 日

Ken NAGANUMA, “The influence of the revised commercial law on the choice of transport documents in Japan”, 2021 International Joint Conference of KTRA and World Scholars in combination with SECOND Jeju Global Business Summit Proceedings, Ramada Plaza Jeju (Korea), August 26, 2021

長沼健、「COVID-19 の感染拡大による自動車海上輸送の動向と運送書類への影響」、日本港湾経済学会・国際商取引学会・国際ビジネスコミュニケーション学会、3 学会合同部会 (オンライン)、2022 年 3 月 19 日

内藤正典、「イスラーム世界における新型コロナウイルス感染症に対するレジリエンス」、COVID-19 Research Project 第 4 回シンポジウム「With コロナ社会の国際課題を考える」、2021 年 10 月 26 日

中西久枝、「火葬か土葬か—コロナ時代における疫学的公共善と宗教的自由の両立」、COVID-19 Research Project 第 4 回シンポジウム「With コロナ社会の国際課題を考える」、2021 年 10 月 26 日

中谷内一也・尾崎拓・柴田侑秀・横井良典、「新型コロナ対策の有効性認知：公衆と医師の違い」、日本リスク研究学会第 33 回年次大会 (オンライン開催)、2020 年 11 月 22 日

中谷内一也・横井良典・柴田侑秀・尾崎拓、「新型コロナ対策の有効性認知に関する公衆-専門家間比較：8 種類の行動的対策を材料として」、日本社会心理学会第 61 回大会 (学習院大学)、2020 年 11 月 6~13 日

中谷内一也、「新型コロナ対策の有効性認知に潜む陥穽」、COVID-19 Research Project 第 3 回シンポジウム「With コロナ時代の社会と行動を考える」、2021 年 10 月 15 日

Tatsuro Niikawa, “Risk Governance in East Asia: Japanese Public Policy and Private Action to COVID-19”, ASPOS-SNUAC Joint Conference, Key themes: COVID-19 and East Asian Responses, November 13th, 2020

西岡幹雄、「関一の英国経済思想アプローチと社会都市政策思想の展開：『国際産業上ノ覇権』による『経済

的国是ノ確立』と大阪」、『第3回日本の経済思想をめぐる研究会』Zoom 学会報告、2021年2月19日
笠井高人、「チュルゴ『富の形成』について」、社会思想研究会（オンライン会議）、2020年12月13日
Yu Noda, “Providing information and preventive behavior: Framing effects of information on COVID-19 infection risk management”, EURAM (European Academy of Management) 2021, June 17
野田遊、「COVID-19 パンデミックと地方自治—民意でよみとく社会の変化」、日本大学法学部政経研究所研究会、2021年10月4日
野田遊、「自治体の情報発信と予防行動」、COVID-19 Research Project 第3回シンポジウム「With コロナ時代の社会と行動を考える」、2021年10月15日
Noriko Noguchi, “Science communication between the expert panel and the government for measure against COVID-19”, Doshisha Week 2020 “COVID-19 Research: Challenges and Achievements for the Society”, ‘Science Communication’, March 5, 2021
野口範子、「COVID-19 対策における専門家会議と政府のサイエンスコミュニケーション」、全国大学保健管理協会近畿地方部会研修会、2020年8月18日
沖勝登志、「イノベーション力を強化する同志社ビジネススクールの産学連携」、寄付教育研究プロジェクト「産学連携によるMBA教育機能強化プロジェクト」2020年度実施報告セミナー、2021年3月29日
大久保雅史、「ビデオコミュニケーションにおける身体性の考察」、COVID-19 Research Project 第5回シンポジウム「With コロナ社会のコミュニケーションを考える」、2021年11月22日
大崎美穂、「共非線形性分析手法による新型コロナウイルスの影響要因分析」、COVID-19 Research Project 第2回シンポジウム「With コロナ社会の健康・医療を考える」、2021年8月31日
阪田真己子、「ポストコロナ社会で『誰一人取り残さない』ためのアクセシビリティを考える」、COVID-19 Research Project 第1回シンポジウム「With コロナ社会のダイバーシティを考える」、2021年7月28日
谷隅勇太・塩谷和基・廣川純也・櫻井芳雄・眞部寛之、「嗅皮質亜領域ごとに異なる、匂い—行動シーン応答」、第43回日本神経科学大会（動画配信方式）、2020年7月29日～8月1日
塩谷和基・谷隅勇太・廣川純也・櫻井芳雄・眞部寛之、「風味弁別に内側前頭前野が重要な役割を果たす」、第43回日本神経科学大会（動画配信方式）、2020年7月29日～8月1日
Hiroyuki Manabe, “Search for neural mechanisms underlying olfaction disorder caused by COVID-19 infection”, Doshisha Week 2020 “COVID-19 Research: Challenges and Achievements for the Society”, ‘Cognitive and Immunological Impact of COVID-19’, March 4, 2021
関智宏、「COVID-19 という危機を乗り越えようとする中小企業の企業家活動—新型コロナウイルスの中小企業経営に与える影響にかんする調査結果から—」、HLC 東大阪産学連携懇話会9月例会（於：クリエイションコア東大阪）、2020年9月24日
Philip Sugai, “Interconnected Tangible and Intangible Factors of Value Contributed by Multiple Stakeholders”, IMA (Association of Accountants and Finance Professionals in Business), Interconnected Tangible and Intangible Factors of Value Contributed by Multiple Stakeholders, July 14, 2021
Philip Sugai, “Sustainability & Measuring Value”, Temple University Sustainability Roundtable: June 21, 2021 Held online from Tokyo, Japan
Philip Sugai, “What Is a “Good” Company, and How Can Its Value Be Assessed?”, The Asian Conference on Sustainability, Energy & the Environment (ACSEE), November 06–08, 2020, Tokyo, Japan (online)
Philip Sugai, “Measuring Value: 80 Goals for 7 Stakeholders”, The 2nd Southeast Asian Conference on

Education (SEACE2021), May 13–15, 2021, Singapore Management University (SMU), Singapore (online)

Philip Sugai, “Measuring Value: 80 Goals for 7 Stakeholders”, The 12th Asian Conference on the Social Sciences (ACSS2021), May 24-26, 2021, Held online from Tokyo, Japan

Philip Sugai, Stanant Phattanaprayoonvong, Jakkraphan Phetharn & Masato Yamazaki, “Valuing Value - A Synthesis of Global Sustainability Frameworks to establish objective and transparent goals to measure value for a firm, its shareholders, customers, employees, partners, society and the planet”, 16th EIASM INTERDISCIPLINARY CONFERENCE on INTANGIBLES AND INTELLECTUAL CAPITAL –SUSTAINABILITY AND INTEGRATED REPORTING, GOVERNANCE AND VALUE CREATION, September 24, 2021

Sugai, P., Phattanaprayoonvong, S., Jakkraphan, P., Linnan, N. & Koizumi, R. (2022, forthcoming) Value measurement across marketing stakeholders, American Marketing Association (AMA) Summer Academic Conference, Chicago, IL, August 12-14.

高橋広行・佐藤研一、「Covid-19を含めた環境要因が消費者のQR決済サービス利用行動に与える影響—マルチレベル・パースペクティブ理論をベースに—」、日本商業学会第71回全国研究大会（オンライン）、2021年5月30日

高橋広行、「アフターコロナ時代における価値観変化とデジタル・コミュニケーション—QRコード決済アプリの利用行動を対象に—」、COVID-19 Research Project 第5回シンポジウム「With コロナ社会のコミュニケーションを考える」、2021年11月22日

高橋美帆、「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）スパイクタンパクの受容体結合部位を標的とした新規COVID-19治療薬の開発」、COVID-19 Research Project 第2回シンポジウム「With コロナ社会の健康・医療を考える」、2021年8月31日

田中秀樹、「コロナ禍のリモートワークによる職場・仕事マネジメント、組織・従業員への影響」、第1回 RISTEM Zoom Seminar@オンライン、2021年3月24日

河崎祥子、田附俊一、「子どものための幼児教育」、第30回日本外来小児科学会年次集会教育講演、同志社大学今出川キャンパス良心館、2021年8月22日（招待特別講演）

田附俊一、「鬼ごっこに類する運動遊びのフィジカル・ディスタンスング」、兵庫県芦屋市立公立幼稚園園長会、2021年3月27日

田附俊一、「運動遊び ～くからだ・こころ・あたま>伸び伸び～」、兵庫県西宮市子育て総合センターチャレンジ研修会、2021年6月12日

田附俊一・幸道直樹、「幼稚園における鬼ごっこに類する運動遊びのフィジカル・ディスタンスング分析」、第30回日本外来小児科学会年次集会、2021年8月21日

田附俊一、「コロナ禍休園前と休園中の保護者や子どもの様子比較、および、幼稚園における鬼ごっこに類する運動遊びのフィジカル・ディスタンスング（園児間の距離）分析」、兵庫県芦屋市立西山幼稚園園内研究会、2021年10月29日

田附俊一、「遊びの中で運動能力を高める幼児教育～ドイツの実践とコロナ禍をふまえて～」、兵庫県芦屋市就学前研修会、2021年11月5日

白銀孝規・土屋隆生、「バイノーラルレンダラーによる楽器演奏システムの実現」、第24回日本音響学会関西支部 若手研究者交流研究発表会（オンライン開催）、2021年12月4日

瓜生原葉子、「新型コロナ対応行動への変容」、COVID-19 Research Project 第3回シンポジウム「With コロナ時代の社会と行動を考える」、2021年10月15日

Aysun Uyar, “Regional Responses to Covid-19 and Potentials for Further International Cooperation at Regional Level”, ASPOS-SNUAC Joint Conference: COVID-19 and East Asian Responses, Online Conference (13 November 2020)

Aysun Uyar, “Potentials of Regional Organizations while Responding to Covid-19”, COVID-19 in Asia: Communication, nationalism and Technology, Asia Centre Bangkok, Thailand, Online Zoom Conference, September 9, 2021

Aysun Uyar, 「地域協力機関の COVID-19 の対策とポスト・コロナにおける国際協力のあり方について」、COVID-19 Research Project 第4回シンポジウム「With コロナ社会の国際課題を考える」、2021年10月26日

Wada, Yoshihiko, “Toward an Ecological Economy and Ecological Footprint: Behavioral Change of Japanese University Students Triggered by the Use of an On-Line EF Calculator and due to COVID-19”, 2020 Eco Civ Korea Conference: The Ethics, Practice, and Economics of Ecological Transition. November 19, 2020

R. Yamada & W. Stevenson, “How Can Online Education Advance Campus Internationalization?”, Doshisha Week 2020 “COVID-19 Research: Challenges and Achievements for the Society”, ‘Campus Internationalization’, March 5, 2021

W. Stevenson, E. Brook, H. Okui, & A. Levine, “Collaborative Online International Learning Project: Responses of Educators and Learners to COVID-19 in Hawai’i and Japan, Japan-U.S. Teacher Education Consortium 31st JUSTEC Virtual Conference, May 28-30, 2021

鄭躍軍・品川郁夫・鄭穹穹・水越孝, 「価値観と消費嗜好の関連分析—若者の行動傾向を焦点に—」、統計関連学会連合大会 2020、2020年9月10日

鄭躍軍, 「新型コロナ対応策とその影響の日独比較」、COVID-19 Research Project 第3回シンポジウム「With コロナ時代の社会と行動を考える」、2021年10月15日

【ポスター発表】

池川雅哉, 「MALDI-Mass Spectrometry Imaging を用いたマウス嗅覚障害および再生モデル」、第69回質量分析討論会（ポスター発表）、2021年5月19日

池川雅哉, 「デキサメタゾン投与マウスにおける胸腺を中心とした代謝変動について」、第69回質量分析討論会（ポスター発表）、2021年5月19日

【その他】

（調査報告書・研究報告書等）

藤本昌代、他、「新型コロナウイルス感染症への組織対応に関する緊急調査：第一報」、一橋大学イノベーション研究センター、2020年5月1日

藤本昌代、他、「新型コロナウイルス感染症への組織対応に関する緊急調査：第二報」、一橋大学イノベーション研究センター、2020年5月11日

藤本昌代、他、「新型コロナウイルス感染症への組織対応に関する緊急調査：第三報」、一橋大学イノベーション研究センター、2020年5月27日

藤本昌代、「京都市の中小企業に対するコロナウィルスの影響に関する緊急調査報告書：第一報」、2020年5月31日

藤本昌代、「京都市の中小企業に対するコロナウィルスの影響に関する緊急調査報告書：第二報」、2020年6月30日

藤本昌代、「2020年コロナ禍で働き、生活するということ：パンデミックによる緊急事態宣言下で私たちに起こっていたこと」、『社会調査実習報告書（藤本クラス）』社会学部社会学科、2021年3月31日

藤本昌代、「京都市の中小企業に対するコロナ禍2021年調査報告書」、同志社大学働き方と科学技術研究センター、2021年10月6日

服部篤子、調査報告書『『全国ミツバチ会議』を通じた都市養蜂の実態調査及び、各都市養蜂プロジェクトの代表・社会起業家へのヒアリング調査結果報告』

飯塚まり、他、「ウェルビーイング研究1～5」（ISSN: 2436-3022）、2021年3月

石井好二郎、「新型コロナウイルス感染拡大が京都市における地域在住高齢者の健康づくりに及ぼした影響」研究報告書、「京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課」へ提出

川口章、「新型コロナウイルス感染症拡大下における共稼ぎ家族の働き方、家事分担、ストレスの変化」中間報告書、同志社大学 COVID-19 Research Project 《研究成果》、2020年10月16日

(<https://kikou.doshisha.ac.jp/reactivities/covid-19research/research.achievement.html#topic19>)

良心学研究センター／編、『パンデミック時代における良心』、2021年3月

板垣竜太／編、『日韓大学生の比較研究 —パンデミック下での国境をこえた社会調査の試み—』、同志社大学社会学部社会学科・社会調査実習報告書 No.29(第1分冊)、2020年9月

村上紗央里、新川達郎、木村充、河井亨、『身の回りの社会から考える わたしと公共ワークブック』、「わたしと公共」教育・研究プロジェクト、(2021年3月発行)

中西久枝、他、『火葬か土葬か—コロナ禍時代における疫学的公共善と宗教的自由の両立』、2021年3月

Reiko Yamada, et al., Doshisha University (2021), "COVID-Culture of Education", Proceedings of A Comparative Study of Approaches to Learning in Hawai'i and Kyoto During the Current Pandemic

(シンポジウム等開催)

森田克司、「人生の分岐点だからこそ、1時間で納得のいく将来の基盤に」、2020年12月7日、14日、講演会開催（飯塚まり）

山崎啓支、「自分の興味関心からやりたい職種、働きたい業種を探す方法」、2020年12月9日、講演会開催（飯塚まり）

山崎啓支、「面接を突破するためのテクニック」、2020年12月16日、講演会開催（飯塚まり）

シンポジウム「パンデミック時代における良心—世界観を更新するための学際的研究」、オンライン（Zoom ウェビナー）、2021年1月11日、シンポジウム開催（小原克博）

“On Ethiopia’s Return to Civil War”（パンデミックの最中に突発的に発生したエチオピアでの内戦状況について）、2020年12月21日、シンポジウム開催（内藤正典）

“Global Divisions and Crisis during Covid-19 Pandemic”（ベルリン、パリ、ガザを結んで、パンデミックの下でのムスリム移民の状況と社会的分断について）、2021年1月21日、シンポジウム開催（内藤正典）

“On France: Free Speech, Racism and Criminalizing Minorities”（パンデミックの最中においても深刻化したフランスでの宗教差別と表現の自由の問題）、2021年2月1日、シンポジウム開催（内藤正典）

“The State and Fate of American Democracy”（米国での人種差別の状況と対抗する民主主義の実践について）

て)、2021年2月12日、シンポジウム開催(内藤正典)

“Memory, Meaning, and Pandemic in Jewish Ultra-Orthodox Communities: What is Essential?”, Lecture by Dr. Joyce Dalsheim、2021年1月10日、シンポジウム開催(内藤正典)

“Between Medical Precaution and Religious/Cultural Rights for Performing the Postmortem in the Time of COVID-19 Pandemic”, Lecture by Dr. Sriprapha Petcharamesree、2021年1月31日、シンポジウム開催(内藤正典)

「コロナウイルスの影響拡大下の地域と国際」、『学生交流フォーラム-1』Zoom 交流研究会、南山大学・同志社大学、2020年11月21日、研究会開催(西岡幹雄)

「コロナ下の経済思想と地域」、『学生交流フォーラム-2』Zoom 交流研究会、関西学院大学・同志社大学、2020年11月22日、研究会開催(西岡幹雄)

「コロナウイルス感染症によって変容する経済思想、産業そして地域」、『学生交流フォーラム-3』Zoom 交流研究会、大阪府立大学・大阪経済大学・同志社大学、2020年11月28日、研究会開催(西岡幹雄)

『創造的人口減少を可能にするまちづくり生態系』～with コロナ時代における地域自律と人口分散の処方箋～、同志社大学「新型コロナウイルス感染症に関する研究課題」成果公開シンポジウム、2021年2月23日、シンポジウム開催(佐野淳也)

「COVID-19 禍における社会変革の本質」、2020年10月24日、パネルディスカッション開催(八木匡)

「危機対応における老舗のリーダーシップ」、事業承継学会との共催パネルディスカッション、2020年12月5日、パネルディスカッション開催(八木匡)

(パネリスト、モデレーター等)

藤本昌代、“Which cooperation between Japan and France in the new post-Covid-19 environment?”,

Inaugural meeting of the Cercle de la FFJ (フランス国立社会科学高等研究院、日仏財団)のシンポジウム、2020年11月13日、パネリスト

飯塚まり、国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン発刊 SDGs 調査レポート 2020 ローンチイベントーコロナ禍を克服する SDGs とビジネスー、2021年3月25日、モデレーター

長沼健、「実務界におけるビジネスコミュニケーションの実態とその潮流」、JBCA 関西支部会「VUCA 時代のビジネスコミュニケーションー広告業界の現場より」(オンライン)、2021年1月23日、コーディネーター

Wada, Yoshihiko, Doshisha Week 2020 “COVID-19 Research: Challenges and Achievements for the Society”, ‘Science Communication’, 2021年3月5日、パネリスト

Wada, Yoshihiko, Doshisha Week 2020 “COVID-19 Research: Challenges and Achievements for the Society”, ‘Campus Internationalization’, 2021年3月5日、パネリスト

(特許出願)

片桐・和田、「画像処理装置および該方法ならびに撮像表示装置」、特願 2021-014231 (2021年2月1日)

(翻訳)

森田和樹/共訳、Anthony Alessandrini, 2020.4, “How to Have a Boycott in a Pandemic: What does the Coronavirus change about the strike at UC Santacruz?”, Specter, (森田和樹 共訳、2020. 11、「ボイコット・イン・パンデミックーCOVID-19 ウイルスで UCSC のストライキのなにが変わったのか」、『HAPAX 第13号: パンデミック』、夜光社)、<https://spectrejournal.com/how-to-have-a-boycott-in-a>

pandemic/ (学生発表: 森千香子)

得能司/訳、Lupton, Deborah ed., 2020, "Doing Fieldwork in a Pandemic," (得能司訳、2021、「パンデミック下でフィールドワークを行うこと」、<https://cv19socialresearch.wixsite.com/website/>)
<https://docs.google.com/document/d/1clGjGABB2h2qbduTgfrqbHmog9B6P0NvMgVuiHZCl8/edit?ts=5e88ae0a#> (学生発表: 森千香子)

(メディア出演、掲載など)

藤本昌代、「新型コロナウイルス 感染防止は 経済再生は」、NHK『日曜討論』、2020年7月5日 (テレビ出演)

久保田安彦・澤口実・船津浩司・松井秀征・松中学、「株主総会の変遷と今後の展望 [上] [中] [下]」(座談会)、『旬刊商事法務』2270号6-22頁、2271号56-61頁、2272号13-23頁、2021年

服部篤子、「ポストコロナ社会」に新たな知の融合を提示する COVID-19 Research Project、同志社大学リエゾンオフィスニューズレター「LIAISON」第61号巻頭特集 (座談会)

和泉真澄、アジア系が狙われる理由 米国の偏見の構図 専門家と考えた、毎日新聞インターネット版、2021年4月27日、URL: <https://mainichi.jp/articles/20210426/k00/00m/030/087000c> (インタビュー記事)

片桐滋、『ONE PURPOSE』第203号 特集2 「COVID-19 Research Project ~新型コロナウイルス感染症に関する緊急研究課題 ALL DOSHISHA で挑むポストコロナ社会への対応」、(広報誌掲載)

川口章、「夫の家事と妻のストレス—コロナ緊急事態宣言下の夫婦間役割分担」、『カエル! ジャパン通信』第156号 (内閣府 仕事と生活の調和推進室発行のメールマガジン)、2020年10月28日

河島伸子、「京都おもてなしコンテンツ」、国際文化政策学会ホームページ、(ウェブサイト寄稿)

小原克博、「パンデミック時代における良心—世界観を更新するための学際的研究」

(<http://ryoshin.doshisha.ac.jp/jp/pandemic/>)、良心学研究センターHP 内特設ページ、(Web 発信)

森千香子、<https://cv19socialresearch.wixsite.com/website/>、(Web 発信)

向正樹、パンデミックのグローバル史のためのオンラインアーカイブ (<https://oaghp.blogspot.com/>)、2020年10月、(Web 発信)

中谷内一也、「ポストコロナ社会」に新たな知の融合を提示する COVID-19 Research Project、同志社大学リエゾンオフィスニューズレター「LIAISON」第61号巻頭特集 (座談会)

野田遊、「知事のコロナ対策、信頼度1位は大阪・吉村氏 行政への信頼は京都府が最下位 近畿2府4県 ネット調査」、京都新聞、2020年9月26日、(新聞掲載)

太田肇、「コロナが終息しても『オフィスは仕切るべき』と考える理由」、NEWS ポストセブン、2020年7月29日、(雑誌掲載)

太田肇、「テレワークで女性の正社員化加速 男性の働き方も変える」、日経 BizGate、2020年8月3日、(雑誌掲載)

太田肇、「見かけ倒しのチームワーク 仕事分担し真のチームに」、日経 BizGate、2020年9月28日、(雑誌掲載)

太田肇、「リモート疲れは限界レベルに 『第3の居場所』探しが不可欠」、NEWS ポストセブン、2020年10月19日、(雑誌掲載)

櫻井芳雄、眞部寛之、「ポストコロナ社会」に新たな知の融合を提示する COVID-19 Research Project、同志社大学リエゾンオフィスニューズレター「LIAISON」第61号巻頭特集 (座談会)

須貝フィリップ、「SDGsは「ただの広告」? 企業の“粉飾”という大問題」、毎日新聞 経済プレミアインタ

ビュー、2021年10月30日

須貝フィリップ、「日本発「エシカルな資本主義」！本当の企業価値を測る」、毎日新聞 経済プレミアインタビュー、2021年11月2日

瓜生原葉子、「特集—日経・FT感染症会議、感染対策の意義、明確に、同志社大学・瓜生原葉子准教授が意識調査分析」、日本経済新聞、2021年9月27日（朝刊）、（新聞掲載）

瓜生原葉子、「なぜ危機は再来したか—日経・FT 感染症会議 開催」、日本経済新聞、2021年10月21日（朝刊）、（新聞掲載）

八木匡、「COVID19 不況下におけるベーシックインカム政策の持続可能性」、(YouTube 発信)

(その他)

飯塚まり、「コロナに負けるな：ウェルビーイング向上プロジェクト」の一環としてコロナ感染予防アプリの開発

野田遊、「COVID-19 感染リスク下における京田辺市と京都府の効果的な連携に関する研究」、〈京田辺市×同志社大学・同志社女子大学 連携研究プロジェクト〉「ポストコロナ社会における市民生活の向上のために」採択